科目名	単位数・時間	学年・開講期
高度実践看護学特論 Ⅰ	2単位・30時間	1年

担当者［E-mail］	塚本　容子［YokoT88@hoku-iryo-u.ac.jp］

【概要】
プライマリ・ケアにおけるナースプラクティショナー（NP）として活動に必要な、基礎的能力について習得するために継続して学習する。内容としては、

【到達目標】
1)プライマリ・ケアにおけるNPの役割が理解でき、役割開発において準備ができる。
2) エビデンスに基づく医療の提供が理解できる
3) 患者中心の医療におけるインフォームドコンセントについて理解でき、実践につながるようなロールプレイができる。
4) SOAPを用いた診療録の書き方を理解し、実習記録につなげることができる
5) ヘルスケアの質向上モデルについて理解することができる。
6) 特定行為関連法規について理解できる。

【授業計画】
1回　オリエンテーション、地域におけるプライマリ・ケアNPの役割（塚本）
2・3回　NP実践におけるエビデンスに基づいた医療提供：特定健診・人間ドックを例に（塚本）
4・5回　高度実践看護師の役割開発：ポートフォリオについて（塚本）
6・7回　患者中心の医療提供：インフォームドコンセントの理論・演習（特別講師）
8・9回　診療録の書き方：SOAPを用いた記録方法（塚本）
10・12回　ヘルスケア質向上モデル：NPのアウトカムと実践の質向上（塚本）
13回　プライマリ・ケアとチーム医療の実際（特別講師）
14・15回　特定行為における関連法規・まとめ（塚本）

【成績評価方法】
ケーススタディレポート/筆記試験

【テキスト】適宜提示する。

【参考文献】適宜提示するが、下記に一部紹介する。

1. 伊藤文夫,押田茂實編(2005). 医療事故紛争の予防・対応の実務,新日本法規出版
2. Hamric, A. ら(2008) Advanced Practice Nursing: An Integrative Approach 4th, ed. Saunders.
3. Jansen, M. ら(2009). Advanced Practice Nursing: Core Concepts for Professional Role Development 4th, ed. Springer Pub.
4. **具体例からはじめる 患者と医療従事者のためのインフォームド・コンセント取扱説明書**
4. **厚生労働省第三十三号 特定行為研修に関する省令 【平成 27 年 3 月 13 日】**

【学修の準備】
参考文献を熟読しておくこと